

西建協だより

290号

2018年
9月

西

安全功労賞受賞にあたって

昭和建設株式会社

常務取締役

藤本 祐一

平成三十年六月十二日(火)中央区銀座二丁目十五一六の銀座プロッサム(中央会館)において東京支部安全衛生推進大会で建設業労働災害防止協会東京支部長より名譽ある「安全功労賞」を受賞させて頂きました。

会場では、東京労働局長、建設業労働災害防止協会会長、一般社団法人東京建設業協会会長の来賓の祝辞を頂き、また、青梅労働基準監督署署長のほかに東京都内の労働基準監督署長が列席され、振り返って見ますと西多摩建設業協同組合員として平成十八年六月二十日から建設業労働災害防止協会東京支部安全指導者を任命され早いもので十二年間(継続中)経過してまいりました。

最初の安全指導者として訪問した時は三多摩と二十三区の労働災害防止への取り組みかたに温度差があり、青梅労働基

礎監督署課長・専門官との現場パトロールにおいて現場の安全対策等の不備指摘はもとより安全書類(店社・協力業者機械・仮設・巡視等)の指摘が数多くあった事が印象的でした。現在は、災害防止の安全に対する認識と西多摩建設業協同組合の安全に対する取り組みの成果が歴然と出ておりパトロール実施時での指摘・改善報告等がほとんどありません。これも西多摩建設業協同組合の皆様方の安全に対する認識の深さ・取り組み方・実行改善努力の賜物だと思えます。

官庁・民間の仕事を受注し営む限り労働災害防止への取り組みは永遠のテーマであると思えます。

西多摩建設業協同組合理事長、副理事長、関係理事との連携を図り組合員会社と働き組むための建設作業に携わる人々の労働災害を防止するための災害防止活動に取り組み、災害ゼロはもとより、危険ゼロ

の職場環境を実現すべく一層努力する。また安全指導者メンバークラスと積極的な意見交換を図り「Safe Work」の意を込めて「KYO」をキャッチフレーズとして、全員の向上を目指します。

最後になりましたが、名譽ある安全功労賞受賞は西多摩建設業協同組合の一員として安全指導者から感謝しております。心から感謝して頂いた賜物だと心から感謝して頂いた賜物だと思えます。

今後とも安全功労賞に恥じないよう安全指導者の任務を継続し、建設業労働基準監督署と連携して安全指導を推進してまいります。



施行体験記

道路災害防除工事(緊急施行)29 南西の1
 五建工業株式会社(元請会社)
 現場代理人 石田 裕
 高木建設株式会社(一次下請)
 主任技術者 船木 広宣

この度、下請という形ではありますが、当社で施工した工事に、東京都建設局長賞という名譽な賞をいただき、ありがたく感じております。

この工事は去る平成29年10月22日に東京都八王子市美山町から上川町に渡る路線、戸沢峠(現地は切土オープンカットの形状で作られた都道)で発生した台風による土砂災害(約1万m³)の復旧及び二次災害の防除工事でした。

当初は土砂の流出によって起こった暗渠となっている河川水路の寸断、それに伴って起こった河川の氾濫、そして電柱等の通信設備や外灯、標識の倒壊、道上斜面の地滑りによる流木などがあり、災害現場では当然のことではありますが土砂撤去作業に当たるのに障害物が多く、作業性の悪い状態であり、流出した土砂は軟弱な粘土であったため、石灰により安定化させ、処分場へ搬出するといった作業でありましたが、安定処理した土砂が、どこからともなく湧き上がる地下水の流入によって再度軟弱化してしまうなど、崩土の搬出も困難でありました。

当社は檜原村の山間部に会社が所在しているせいか、土砂災害の対応は少し慣れている面もあり、災害現場の復旧はもとより、現場にやってくる生活に支障が出てしまっている道路利用者の方への対応もスムーズに行えました。

先日、西日本で大規模な降雨による土砂災害があり、その復旧も炎天下のなか苦勞されているようです。



テレビでは多くのボランティアの方が復旧のお手伝いに向かわれ、作業も順調に進んでいるように見えますが、一部の被災地では、被災したメディアに取り上げられることがなかったことで、地名が知られず、全

くボランティアの方が来ないうえ、行政の対応も間に合わず、困っている被災地もあるようでしたが、地域の建設会社が重機や人員を派遣し、頑張って復旧作業を行っていました。

私も建設業者として日頃、道路工事や建築工事に携わっておりますが、これからの時期、頻繁に起こるであろう台風による災害の復旧作業がまたあるかもしれません。

災害復旧は当然、即時に行うため、計画もままならないうちに現場に入り、状況が読みにくいうえ、二次災害の危険が伴い、恐ろしいものでありますが、逃げずに、かつ共に現場に携わる作業員の安全も確保するなど、その都度、状況を考え取組んでゆきたいと考えております。



◇労働衛生週間◇

準備月間 9月 1日～30日
 本週間 10月1日から7日
 スローガン ところとからだの健康づくり
 みんなで進める働き方改革

平成二十八年年度に施工致しました平井川整備工事(その三五)において、この度「平成三十五年東京建設局長賞」という名譽ある賞を頂く事ができ個人並びに会社共々、身に余る光栄と感謝しております。

本工事は、あきる野市の草花地区と瀬戸岡地区の境を流れる平井川の多自然型護岸工事です。施工延長は約二九〇mで、工事概要は、河床掘削一五〇〇m、右岸側をカゴマット多段積工(隠れ護岸)一一九〇m、練石張工七〇〇m、左岸側を連結自然石護岸工(アンカ式空石積)六〇〇m、河道内に床止め工として落差工五列、木製根固めブロック一〇基、木工沈床三五〇m²と両護岸及び河道内に構築物が有りました。また床止工の四〇m程上流には、支川との合流場所も有りまして、その為、降雨による増水に施工への影響を最小限にする為に河道内の工期を完了する施工方法を考え、右護岸と床止め工の設置を並行して進め、練石張工の設置を河道内ではなく、練石張工背面の高水敷に切り回す事にしました。しかし、仮水路の切り直しには幹川と支川の同時瀬替えを行わなければならず、大変苦勞を強いられ、高水敷による現場内への浸水を抑えられ、両護岸、床止め工と並行して施工する事が出来、無事に濁水期に工事を終える事が出来ました。

現場が完成し、新しい技術と多自然型工法で、自然と共生できる景観の変化を感じます。

「綺麗になった近隣の方々の掛け声に、色々と御迷惑をお掛けしてしまつた近隣の方々の話に、大きな喜びを感じます。」などと、最後、今回頂いた賞は西多摩建設業協同組合員の方々の協力のおかげで、御協力ありがとうございます。

近隣住民様の御協力ありがとうございます。

施行体験記

平井川整備工事(その三五)
 (株)上坂重機開発 現場代理人 上坂 裕次

第16回あきる野夏祭り取材報告

今年もあきる野市秋川駅前大通りにおいて、第16回あきる野夏祭りが8月4日(土曜日)に盛大に開催されました。西多摩建設業協同組合の秋川流域委員会は毎年模擬店を出店しており、今年も例年通り、焼き鳥と缶ビール・ジュース類を販売しました。あきる野夏祭り開催前の数日間は猛暑が続き、各地で夕立が発生していた中で当日を迎え、心配していた猛暑にはなりませんが、朝から大変天気が良く、夕立にはならず無事に開催する事が出来ました。昼間はやはり猛暑だった事もあり、人出があまり見られない様子でしたが、夕方からは大勢のお客様が押し寄せ、行列が途切れないほどの盛況ぶりでした。そんな中、秋川流域委員会の武田雅由委員長を中心に、各参加者が役割をしっかりと果たし、手際よく行われておりました。

また、責任者である武田雅由委員長にお話を伺ったところ、「毎年、あきる野夏祭りに出店させていただいているので、今後は参加するだけでなく、西多摩建設業協同組合としての存在をもっとアピールしていきたい」との事でした。



そんな中、西日本豪雨災害の視察写真を展示し、災害支援の募金箱を設置する工夫が見受けられました。

炎天下の中、焼き鳥を焼く作業では熱中症の危険を考慮し、適度なタイミングでの作業交代や水分補給を行っておりました。早朝から準備を始め、実に12時間以上にわたる業務をこなすところを見ると、屋外での業務を主とする建設業者としての夏場炎天下での作業に対する配慮が、行き届いていると感心するものがありました。

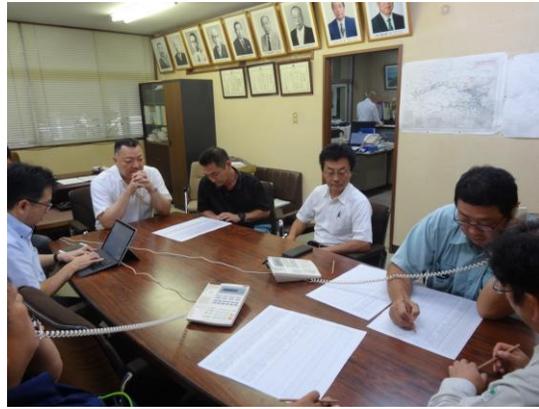
広報委員

緊急道路啓開訓練報告

災害対策安全委員長 武田 雅由

去る9月3日(月曜日)に緊急道路啓開訓練を例年同様に実施致しました。今年9月1日の防災の日が土曜日となりましたので、翌週の3日の月曜日とさせていただきます。

当日午前8時に地震発生を想定し、東京都知事と道路啓開協定を結ぶ会社は、自主的に出勤し、担当路線の緊急道路巡回を実施。西多摩建設業協同組合へ8時15分より電話とFAXにて巡回状況を報告して頂きました。西多摩建設業協同組合建設会館では、榎森理事長以下、副理事長、災害対策安全正副委員長が集結し、災害対策本部を設置して電話対応等に当たりました。午前10時には報告が完了し、速やかに報告書を集計後、岩浪災害対策安全委員会担当副理事長と災害対策安全正副委員長とで、西多摩建設事務所西村副所長へ提出してまいりました。



今回、協定を結ぶ会社の皆様には緊急道路啓開訓練にご協力いただき誠にありがとうございました。今後も当組合は、西多摩建設事務所と連絡・相談を重ね、協定を結ぶ会社が有事の際に迅速な対応が出来るよう更なる訓練を実施まいりたいと思います。

◇あ と が き◇

記録的な猛暑だった今年の夏は、埼玉県熊谷市で最高気温が41.1℃、青梅市でも40.8℃が観測されました。このため日本各地で熱中症による患者が多数発症し、気象庁は「命に係わる暑さ、不要・不急の外出を避けるように」との発表を行ったほどでした。

そんな酷暑の中、甲子園球場では夏の高校野球大会が行われていました。暑さにめげず渾身と白球を追い続ける高校球児を観ていると、こちらまで元気になってきます。高校生に負けずに頑張ろう!と思っはみるものの、すぐに疲れてしまい体力が回復しにくくなった中高年の現実に気づかされるのでした。

暦の上では立秋を過ぎ、暑さも峠を過ぎた感がありますが、夏の疲れが出てくる時期でもあります。夏の間消費した体力が回復するまで体調管理には十分ご注意ください。

～広報委員～

8 月 事 業 報 告

- 4日 秋川流域委員会(あきる野夏祭出店)
- 6日 総務委員会
- 7日 広報委員会 289号編集
- 21日 事業員会
- 30日 災害対策安全委員会

9 月 事 業 計 画

- 1日～30日 労働衛生週間準備期間
- 3日 午前8時 西建協・災害対策本部設置7名参集(正副理事長・災害対策安全正副委員長)
- *全73路線道路啓開協定業者緊急巡回の実施。道路巡回報告書作成し災害対策本部へFAX及び電話報告実施。
- 4日 広報委員会 290号編集
- 7日 平成30年度経営講習会(東日本建設業保証(株)共催)
- 7日 西建協・若手経営者の会 役員会
- 7日 秋川流域委員会
- 10日 三多摩建設業連合会
平成31年度東京都予算等に対する、都知事、都議会自民党・都民ファースト・要望書提出及び自民党ヒヤリング実施 正副理事長出席
- 11日 事業員会
- 12日 労働衛生週間説明会(建災防西多摩分会)
時間 午後2時～4時
会場 福生市民会館 3階第4・5集会室
1部 平成30年度労働衛生週間実施要綱の説明
2部講演 建設現場におけるメンタルヘルス対策(健康KY・無記名ストレッチ・職場環境改善)
講師 野口 紀央 先生
- 18日 総務委員会
- 19日 理事会

◇日建学院青梅認定校(西建協)からのご案内◇

受講生募集案内 『合格のための受験対策講座』 ＜青梅校 2019年度開講講座＞

- ◎1級建築施工管理技士 学科コース
 - ◎1級土木施工管理技士 学科コース
 - ◎給水装置工事主任技術者講座 毎週 火・木
講義日程 7月下旬～10月中旬 18:40～
 - ◎2級土木施工管理技士(学科・実地)コース 毎週 火・木
講義日程 6月下旬～10月中旬 18:30～
 - ◎宅地建物取引主任者本科コース 毎週 水
講義日程 3月中旬～10月中旬
 - ◎2級建築施工管理技士(学科・実地)コース 毎週 火・木
講義日程 8月中旬～11月上旬
- 西多摩建設業協同組合が「日建学院認定校」として青梅校を開講(10年目)致します。
会員企業の皆様からの受講問合せ(受講申込)等の連絡をお待ちしております。

*詳細説明は随時致します。

*先ず下記までお問合せ下さい。

連絡先 青梅認定校(西建協) 0428-22-6245 石川
日建立川校 担当:澤田 080-9349-3870